

～集中連載～ もっと住みよい町に・・・

渋谷を変えたい！

鈴木けんぼう
(民主党渋谷区支部 政調副会長)

～ 第 2 回・教育～

少子化は、渋谷区を直撃しています。
「クラスがえ」が行われない公立小学校の現状。

昨年、ある小学校の校長先生と話をすることがありましたが、「クラスがえ」ができないことに頭を抱えていました。「クラスがえは社会性を養ういい機会。少子化によってクラスがえが無くなることは大変な損失」だそうです。実際、区内 20小学校のうち、全学年が 2クラス編成できるのはわずか 6校、全学年が 3クラス編成できる学校はありません（平成 14年版「渋谷の教育」教育委員会編）。少子化の現状は深刻です。

貴重なこども時代、教育効果を守るために、
早急な対策が必要です。

確かに少子化はさまざまな社会的要因が絡み合っていて、すぐ解決できる問題ではありません。しかし、こどもにとって一年一年がかけがえのないものであるのも事実。長期的な対策とともに、早急な対策を併用しなければなりません。

長期的には（1）育児支援（2）20～40代家族の定住支援、などの施策を行いこどもの人口そのものを増やす。短期的にはこどもの社会性を養う機会を授業などに積極的に取り入れ、少子化に伴う悪影響をできるだけ抑える。こどものために、そして渋谷の未来のために、少子化問題への早急な対策が必要です。

こどもを守るために、有効な対策をすぐ実行しましょう！

バックナンバーをお届けいたします。お気軽にご連絡ください。

第 1 回「情報公開」編



こどもを少子化から守るための提言！

～ 長期 短期の少子化対策～

1、社会性を養うプログラムの導入（短期的対策）

クラスがえがなくなることに伴い、社会性を養うプログラムが必要になります。従来重視されていなかった学校間交流事業（連合行事、合同合宿など学校の枠を超えた交流）を充実させるなど、新たな視点で改革を進めます。

2、こどもの人口を増やす（長期的対策）

育児支援や、20～40代家族の定住支援を行うことによって、こどもをもつ家庭にとっても住みやすい渋谷づくりを進めます。こどもがそこかしこで遊んでいる、2年前には当たり前だった風景を取り戻します。

他の政策を見る

<http://www.s-kenpo.jp/>

【私も支援しています】



海江田 万里
衆議院議員



ながつま昭
衆議院議員
民主党東京 区総支部長

渋谷の抱えるさまざまな問題。地方自治の時代だからこそ、噴出する難問を解決できる政策能力・調整能力が問われます。

鈴木けんぼう君は、私が代表を務めております東京 7 区総支部で政策委員として長く活動しております。

政策能力は折り紙つき。渋谷から新しい日本を創っていく、若さと行動力にご期待ください。

ながつま昭

鈴木けんぼう
連絡先

ご意見・ご感想は・・・

〒 151-0063
渋谷区富ヶ谷
1- 48- 16- 103

TEL 03- 5738- 0268
FAX 03- 5738- 0267
shibuya@s-kenpo.jp
<http://www.s-kenpo.jp/>

ホームページを印刷してお届けします。お気軽にご連絡ください。